

コロナに便乗する詐欺について

姫路工学キャンパス新型コロナウイルス感染症総合対策会議

2020.5.7

外出を控えている現在、どうしても心細くなってしまいがちで、SNSや人の親切心に頼りたくなってしまいます。そんな心の隙間に悪魔が近寄ってきています。実際にあったこと、予想される手口、ダメされやすい人の特徴について載せるので現実を知って注意してください。

国民生活センターによると、国内初の感染が確認された1月以降、全国の消費生活センターに寄せられた新型コロナに絡む相談は1万件を超え、悪質商法や詐欺と疑われる内容も多いようです。

以下のような体験をしたら、すぐに消費生活センターと警察の相談窓口で電話で業者名などを伝えて相談しましょう。

新型コロナウイルス感染症に便乗する悪質商法とは

1. コロナの名目で借金や還付金詐欺

「借金ができたのでお金を貸して。貯金はいくらある?」。大阪府在住の80代男性に4月3日、息子を装った男から電話がありました。男性が「800万円ほどある」と答え、男は「銀行で大金を下ろす際は理由を聞かれるので『コロナの関係で手元に資金がほしい』と説明して」と要求しました。男性は銀行に言われたままに説明して預金を解約し、800万円を受け取り別の男に手渡ししてしまいました。8日には、大阪府泉佐野市の60代女性が市職員を名乗る男から保険料の還付金があるとの電話を受けました。「市役所はコロナで忙しいので、ATMで手続きします」と言われ、約100万円をだまし取られてしまいました。市職員を装って「助成金があるので口座番号を教えてください」などの電話も確認されています。

2. 国からの給付金に合わせた詐欺

姫路市消費生活センターは、4月に政府が公表した全国民への10万円給付に関連した、フィッシング詐欺メールが確認されたと明らかにしました。

4月17日、市内に住む60代の男性のメールアドレスに、「市役所への申請手続きを代行する」などと勧誘するメールが確認されました。政府による10万円給付はメール発信時点ですべての内容が決まっておらず、「詐欺の可能性ある」との認識を示しています。

3. マスク送りつけ商法

全国で500件を超える被害が報告されているのが、政府の布マスク配布に便乗して一方的にマスクを送り付け、代金の支払いを求める「送りつけ商法」が横行しています。

被害者が宅配便を開封すると中に箱入りのマスクの他、「7日以内に代金を振り込むか不要な場合は送料元払いでお返ください。返送がなければ、購入したとみなします」というメッセージが入っていました。

マスクが簡単に手に入らないので、例え身に覚えのない業者から送られてきたものであっても、代金が高くて、マスクの品質に問題なければようやく手に入ったんだから支払って使おうという消費者も多いでしょう。

新型コロナウイルス感染拡大に乗じた犯罪が懸念される

オレオレ詐欺



子どもを狙う声かけ



空き巣



でも受け取ってしまえば業者につけ入るスキを与え個人情報をとられてしまいます。

まずは、受け取らないことです。メール便などで勝手に送られてしまったものはジッと14日間我慢しましょう。そのマスクを使ったり捨てたりせずにそのままの状態でも14日間待ちましょう。特定商取引法では14日間その商品の購入を承諾せず送りつけた業者による引き取りもなければ、業者側は返還を請求できなくなります。

4. 子供を狙う声かけ

3月27日、東京都台東区の公園で小学生の女兒が、60代くらいの男から「コロナウイルスに効くアメをあげよう」と声をかけられました。男は保護者が近くにいることに気付いたとみられ、立ち去りました。

現在、市販薬等でコロナウイルスに効果のある薬品や食品はありません。

5. 人の不安な気持ちを利用した悪質な勧誘

「浄水器を替えないと新型コロナウイルスに感染する」とか「新型コロナウイルスを除去するために配水管を清掃する必要がある」といった勧誘は全て嘘です。



【厚生労働省を装う詐欺】

電話で厚生労働省の名を語り「住んでいる場所の近辺で発生していますよ」と偽情報を教える手法では、その後検査費用を肩代わりのするので検査キットを送ると言われ、後々病院を装い、口座に振り込ませるという手口です。

【保健所を装う詐欺】

電話をかけてきて手洗いやうがいの励行を行うアドバイスなどをしながら、家族構成など、後々の詐欺の材料を引き出しその後の詐欺に利用する手口です。

それから、「お祈り」も科学的根拠はありませんので、宗教の勧誘にも注意しましょう。インターネット上などでの募金の呼びかけには身分を隠したカルトや詐欺的団体が紛れていることもあります。近年は動画投稿サイトやSNSを通じた勧誘行動が主流になっていて、身分や目的を隠した信者は、投稿した人に接触して徐々に不安や弱点を探り出します。社会不安の蔓延時にはより短期的に人間関係を作るとされていて、数か月で周りの助言を受け入れないほどにのめりこむ事例もあるそうです。

巻き込まれた人の特徴として、周囲の人を疎遠にして新しい人間関係のみを優先したり、食べ物や服装、価値観などが一変したりすることが多いようです。家族など身近な人にも目を配りましょう。

注意すること

特にダメされやすい人

【相手の話の腰を折れない人】

優しい人は相手の話の腰を折れません。なので話を聞いてしまう。

【自分から情報発信をしてしまう人】

相手も聞き上手なので、知らず知らずに自分の情報を相手に伝えてしまう


【パニックになる人】

例えばティッシュやトイレトペーパーを大量に買いに走る人。




社会の不安に乗じた悪質な手法はどんどん巧妙になっています。「私は大丈夫」というほど危険です。誰が騙されてもおかしくありません。誰もが心が不安になっている昨今、警戒心を解かないよう、しっかり詐欺を見極めていきましょう。

相談窓口（消費関連）

名称	専用電話番号	受付時間
姫路市消費者生活センター	(079)221-2110	9:00～17:00
国民生活センター「消費者ホットライン」	188	
警察相談専用電話	#9110	土日祝と夜間は当直又は音声案内で対応
兵庫県警察本部県民相談センター	(078)361-2110	
兵庫県 LINE 公式アカウント 「兵庫県-新型コロナ対策パーソナルサポート」 https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk26/covid19_line.html		

相談窓口（コロナ感染症症状について）

名称	専用電話番号	受付時間
姫路市新型コロナウイルス相談窓口	079-289-0055	8:35～21:00
兵庫県コールセンター（予防・検査・医療に関するご相談）	078-362-9980	24 時間
神戸市新型コロナウイルス専用健康相談窓口（予防・健康不安、一般的相談）	078-322-6250	24 時間
神戸市帰国者・接触者相談センター （感染者との接触、風邪の症状や 37.5℃以上の発熱が 4 日以上続いている方）	078-322-6829	24 時間
兵庫県 LINE 公式アカウント 「兵庫県-新型コロナ対策パーソナルサポート」 https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk26/covid19_line.html		



（引用、参考）

日本経済新聞 HP2020/4/17

サイバーセキュリティ.com2020/4/21

ニッポン放送「草野満代夕暮れ WONDER4」多田文明氏解説 2020/4/20

「Yahoo!ニュース」2020/4/22

JJL.COM ニュース 2020/4/21